

令和7年度障害者支援施設山鳩よりい地域連携推進会議 議事録

- 1 開催日時 令和7年9月26日（金）
午前10時から11時50分まで
- 2 開催場所 山鳩よりい訓練室
- 3 出席者 利用者代表（1名）
利用者家族（1名）
地域の関係者（1名）
福祉に知見のある人（1名）
市町村担当者（2名）
施設長
事務局（事務長、生活支援課長、庶務課主査）

4 はじめに

事務局から会議にあたっての守秘義務、議事録作成について説明がされた。また、利用者代表が聴覚に障害があるため、議題ごとに質疑を行うこと、発言をパソコンで文字化するためICT技術を活用した会議となることの了解を求め、了承された。

5 開会

6 施設長あいさつ

7 出席者紹介

事務局から出席者の紹介を行うとともに、出席者から自己紹介をいただいた。

8 議題

（1）利用者と地域との関わり合いについて

事務局

- ・ 利用者が地域の中でよりよい生活を送るため、地域の人へ施設や利用者への理解を促進させていくにあたり、現在行っている自治会等との交流と、今後の地域との関わり方について説明がされた。

【質疑・応答】

地域の関係者

- ・ 10月に地域の防災訓練を計画している。参集訓練のため利用者の方も参加、見学いただきたい。また、秋祭りが11月初旬に行われ、施設の近くで山車が見られる。事前に区長に連絡いただければ見学場所なども配慮できる。

利用者代表

- ・ コロナ以前は中高生のボランティアとスポーツレクリエーションを一緒にやって楽しかった。こういった交流がもっと増えたらいいなと思う。
- ・ また、子供たちと交流できたら楽しいだろうなと思う。

施設長

- ・ 学生が来園すると利用者さんも喜ぶので、是非、機会を作っていきたい。

利用者代表

- ・ 去年、産業文化祭に汽車の作品を展示したところ、買い物に来た方が絶賛されたということを聞いた。本当に涙が出るぐらいとっても嬉しく、人との交流をととても身近に感じた出来事だった。

福祉に知見のある人

- ・ 私どもの施設もいろいろ防災訓練をしているが、区長さんなどが参加しており素晴らしい。
- ・ 先日、秋祭りに地域の方々に集まっていた。利用者がいろんな人との交流をすることで表情が変わるので大変良かった。
- ・ 非日常的な出来事があると利用者の毎日が充実される。私どもの施設も進めていきたい。

施設長

- ・ 当施設から地域貢献として、車椅子やプロジェクターなどの施設備品の貸し出しが行えないかと検討している。

(2) サービスの質の向上のための取組について

事務局

- ・ 利用者や家族の声を聴く機会や伝える機会を重視しサービスの向上に努めるため、利用者との全体交流会、保護者連絡会等を開催している。
- ・ 地域移行等支援では、施設から地域移行した方の自宅訪問の他に外部団体との連絡調整を行っている。
- ・ 外出支援及び多様な選べる日中活動・サークル活動の状況並びに職員の支援力向上のための研修の状況について説明がされた。

【質疑・応答】

福祉に知見のある人

- ・ 多様な取り組みを行っており、利用者が楽しみにしていることが分かる。生け花や習字などは私どもの施設では行っておらず大変よい。いろんな取り組みに利用者も関わって楽しみにしていると感じた。
- ・ 私どもの施設では、利用者が何かしたいなっていう素振りをしたときに、他の業務があつたとしても利用者を優先し、その素振りに応じた支援をしている。参考にしていただきたい。

市町村担当者（a）

- ・ 個別支援計画の作成や地域移行について利用者の意思決定が尊重されていると感じた。外出支援等も充実しており利用者も楽しい機会がたくさんあると感じた。
- ・ 支援力の向上で、研修が多く職場内研修も毎月行われており、研究発表係もいて自己研鑽ができる仕組みがある。今後も、継続して取り組んでいただきたい。

利用者代表

- ・ まだまだコロナで難しいと思うが、家族とゆっくりと話す時間を持ちたいので、面会時間がもう少しだけ長くなったら嬉しい。

施設長

- ・ 家族との外出や帰省は段階的に再開してきた。今後も状況を見ながら対応したい。

地域の関係者

- ・ 先ほど、利用者代表さんから子供さんと接する機会を持ちたい旨の発言があった。散歩のときに会えるよう事前に保育園や学校にご相談し、配慮されたらよい。

(3) 虐待防止の取組について

事務局

- ・ 山鳩よりいの虐待防止と、適正に行わないと身体的虐待となる身体拘束の適正化についての取り組みについて、事例や虐待防止職員チェックリストなどにより説明がされた。

【質疑・応答】

施設長

- ・ 虐待や不当な身体拘束は利用者の権利擁護を守る立場として絶対にあってはならない。そのため、このようなことが起きないように委員会などで検討しながら取り組んでいる。

(4) その他

施設長

- ・ 会議全般について、また、前回の見学についての感想など伺いたい。

利用者代表

- ・ 会議に参加するのは聞こえなくなってから20年ぶり。皆さんの意見が知れて、そして地域でも、他の施設でもいろいろやっていることが分かった。施設にいるところだけのことしかわからない。本当に皆さんいろいろ考えていただいていて、とてもありがたいと思った。

施設長

- ・ 以前は保護者会があったが、世代も変わり保護者の居住地域も広域化したことで保護者会が発足されていないことから、保護者からの要望が出しづらいかと反省している。一人の意見でも複数人の意見でも結構ですので、意見を頂きたい。

利用者家族

- ・ 普段親しくしている保護者は皆さん感謝しているとおっしゃっている。

施設長

- ・ 施設に対して疑問に思うことが生じた場合には、ぜひ早めに教えていただきたい。

地域の関係者

- ・ 施設では、皆さん同じようなスケジュールで生活されていると思っていたが、利用者さんの意思を尊重し、個々のスケジュールに合った生活をしていると感じた。
- ・ 施設見学時の意見交換で、職員の方に勤務状況を聞いたところ、「ローテーションにより休みも確保されているため、ゆとりがあり、利用者さんに対してもできるだけ要望を聞いて、答えてあげたいという気持ちで日々仕事しています。」との回答があった。また、利用者さんからも、職員は話を色々聞いてくれると聞いた。お互いに良い環境を作っている。こういう関係をうまく続けていっていただきたい。

福祉に知見のある人

- ・ 山鳩よりいの施設を見るのは初めてだったが、利用者がいろんなことができるようになっていたと思った。また、活動内容を見ると、施設として可能な限り個人を尊重しながら日常生活支援を行っている。
- ・ 職員さんを見ると皆さん明るく対応している。表情が明るいので、いろんなことが話しやすい環境なんだろうなと感じた。
- ・ 山鳩さんを参考にさせていただいて、うちの施設もまた一つステップアップできるように頑張っていきたい。

市町村担当者（a）

- ・ 事業の説明や、今日の会議でICT技術を活用した合理的な配慮もしっかりされており、利用者本位のきめ細やかな支援ができていると感じた。
- ・ 利用者から直接意見を聞くことが立場的に少ない中、とても貴重な体験をさせていただいた。

市町村担当者（b）

- ・ 役所の中ではイメージできない利用者さんの顔や、こういった形で1日を過ごされているのか、直接声を聞くことができ非常に業務を進めていく上で理解が深まった。
- ・ 日々の生活で、利用者の希望を叶えるためにどれだけ工夫ができるかを常に職員の方が考え、外出の支援やイベントの企画をして、それでいて、業務の負担が過重にならないように勤務体制もしっかり整えているという話が聞けた。職員さん、利用される方、また、保護者の方にとっても、安心して利用していただける環境が整っていると感じた。こういったお話が聞けて、非常に勉強になった。

施設長

- ・ 日々の中で、もっともっと利用者の声を聞きたいという言葉も職員の中から出てきている。もう少し寄り添った取り組みができないかということも今後の課題である。皆さんからいただいた意見を生かしていきたい。

9 試食

事務局

給食について説明を行い、利用者さんと同じ献立の食事を召し上がっていただく。

献立：ご飯、タラの南蛮漬け、きんぴられんこん、二色おかか和え、味噌汁

10 閉会

【施設見学】

第1回 令和7年7月29日（火）13：30から

参加者：地域の関係者

第2回 令和7年8月25日（月）13：30から

参加者：利用者家族、福祉に知見のある人、市町村関係者2名

内容

- 1 施設紹介
- 2 利用者の意思決定支援について
- 3 施設見学
- 4 意見交換